

1 1. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 A・B・C	現場到着し事故車両の確認をおこなう。	
経過 2	当事者 A	事故車両内に要救助者を確認、当事者 B・C に救出を命じた。	
経過 3	当事者 B・C	運転席ドアを開放するため、油圧スプレッダーを設定する。	
経過 4	当事者 C	スプレッダーを操作しドアの開放作業にかかる	
経過 5	当事者 B	当事者 C の補助につく	
経過 6	当事者 B・C	スプレッダーを事故車両に押し当てたところ、事故車両が動きだしたことに気付く。	
経過 7	当事者 B・C	開放作業を一旦中止し、車輪止めによる車両固定及び、サイドブレーキの確認を行う。	
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・ 装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・ 必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・ 狭隘な場所であった。	いいえ
・ 暑かった（寒かった）。	いいえ
・ 野次馬が多かった。	いいえ
・ 現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・ 足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・ 足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・ 指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・ 隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・ 隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：救出活動にばかり気を取られてしまい、到着時の初動活動が実施できていなかったため。

救助活動中に車両が動き出した事故事例



・発生日時 : 平成15年11月29日 午後2時頃

経過	現場の状況	隊員A	隊員B	隊員C	備考
		機関員／消防副士長 ・年齢 27 歳 ・勤続 8 年 ・現場 8 年 ・同様の活動: 1年に数度	隊員／消防士長 ・年齢 歳 ・勤続 年 ・現場 年 ・同様の活動: 1年に数度	隊員／消防司令補 ・年齢 歳 ・勤続 年 ・現場 年 ・同様の活動: 1年に数度	
出動指令	救助出動指令				交通事故への救助出動
	出動途中				
現場到着	屋外: ゆるいカーブの道路上	現場到着し事故車両の確認をおこなう			
				事故車両内に要救助者を確認、隊員A・Bに救出を命じた	
活動初期		運転席ドアを開放するため、油圧スプレッダーを設定する ↓ スプレッダーを操作しドアの開放作業にかかる ↓ スプレッダーを事故車両に押し当てた			
			隊員Aの補助につく		
		事故車両が動きだした			
			開放作業を一旦中止		
活動降中期		車輪止めによる車両固定及び、サイドブレーキの確認を行う			
					事故車両の固定処置を怠っていた サイドブレーキが効いているか確認不足であった

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

- 直接的な原因:
 ・たまたま、負傷事故にならなかった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

- (心理・体調について)
 ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
 ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
 ・活動に対する経験が不足していた。
 (その他)
 ・救出活動にばかり気を取られてしまい、到着時の初動活動が実施できていなかったため。